国民保護サイレン音を知る
一斉再生訓練

1月31日（水）11時から、全国瞬時警報システム（Jアラート）が発令された場合に備え、市内全域で国民保護サイレン音を試験的に放送する訓練を実施します。

このサイレン音は、弾道ミサイルが日本の上空を通過するか落下する可能性がある場合、市防災行政用無線をとおして、市民へ瞬時に伝達されます。訓練時は、市内に設置してある防災行政用無線の屋外スピーカーと個別受信機から、一斉にサイレン音が鳴るので、実際の災害と間違えないよう注意してください。

災害発生や気象状況などにより、中止する場合があります。訓練の情報は市ホームページのトップページから確認することができます。

普段聞き慣れないような音ですが、サイレン音を知り、万が一の時には落ち着いて次の行動を取ってください（本訓練では避難の必要はありません）。

屋外にいる場合

▽近くのできるだけ頑丈な建物に避難する

▽近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る

屋内にいる場合

▽できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する

問危機管理課☎70・5641。

市イルミネーションを開催

昨年12月9日～26日、市役所南側広場で市イルミネーションを開催しました。約3万球の電飾が満天の星空さながらに、冬の夜空を幻想的に彩りました。学生を中心とした新たな実行委員会が電飾の配置の再考やフォトスポットの設置などを行い、大抽選会やフォトコンテストなども実施しました。来庁していた男の子は「ハートがきれいでした」と話してくれました。

問商業観光課☎70・5685。

古代住居組み立て体験教室を開催しました

昨年12月10日、神崎遺跡公園で古代住居組み立て体験教室を開催しました。

古代の生活を体感してもらうため、神崎遺跡があった弥生時代の住居跡を基に作製した仮設型復元住居の稲わらぶきを行いました。

参加者からは「稲わらを固定するのが面白かった」「また参加したい」などの感想が寄せられました。同体験教室は3月まで毎月1回開催します。

申生涯学習課☎70・5637。

問同課。

タイムスリップ

市指定文化財を巡る ～熊野社～

市教育委員会では、市内の文化財のうち重要なものを市文化財に指定しています。今回は、熊野社（上土棚中5－11－18）の「本殿・拝殿及び棟札」「絵馬」を紹介します。本殿、拝殿と棟札4枚、絵馬8点を平成11年に市文化財（建造物及び民俗文化財）に指定しました。

同社は天文（てんぶん）8年（1539年）創立とされています。

現在の本殿は、享保（きょうほう）12年（1727年）再建の県下でも珍しい隅木（すみぎ）入り春日造りです。拝殿は、文政（ぶんせい）13年（1830年）に再建された市内の神社拝殿唯一の江戸時代の建造物です。

牛若丸と弁慶五條大橋の図絵馬は、市内最古の文政6年（1823年）のもので、奉納されている絵馬からは、江戸後期～明治前期の庶民信仰や文芸的教養をうかがうことができます。

問生涯学習課☎70・5637。

▲本殿及び拝殿

▼牛若丸と弁慶五條大橋の図絵馬

あやせスポレポ！

バドミントン協会
問小室
☎090・9876・7592

▲バドミントン協会の皆さん

まちかど特派員　福島順一

今回は、「リオの感動を再び東京で」を合言葉に、若い選手の育成や生涯スポーツとしてのバドミントンの普及に取り組んでいる、市バドミントン協会を紹介します。

同協会は、昭和53年1月に綾瀬町体育協会に加盟し誕生、昭和63年1月には市制10周年・協会誕生10周年記念大会を盛大に開催しました。平成2年に開催された全日本シニア選手権では市内在住の鈴木誠一さんが優勝、全国青年大会では市代表選手団が3位と活躍しました。

平成14年に、同協会が後援する綾瀬ジュニアバドミントンクラブが発足、将来日本のバドミントン界を背負う選手の育成に日々努力しています。近年、日本のバドミントン選手のレベルも上がり、世界ランキングも常に上位にあります。一昨年のリオデジャネイロ五輪では、女子選手が悲願の金メダルを獲得したことは記憶に新しいところで、ますます人気のスポーツになっています。

会長の小室和浩さんは「バドミントンは生涯スポーツとしても注目されており、子どもからお年寄りまでレベルに応じて楽しめるスポーツです」と話し、同協会の将来について「バドミントンを通じ、地域の皆さんとのコミュニケーションを図り、ストレスの解消や地域の活性化に努めていきたいと思っています。そのためにも若い選手を育成し、生涯スポーツの基盤を築くことが我々の任務です。市民の皆さんに年10回程の協会主催の大会へ参加いただき、協会登録会員を増やしたいです」と語ります。

皆さん、同協会HPayasebad2.sports.coocan.jpへアクセスしてみてください。

▲将来の日本を背負う「綾瀬ジュニア」のメンバー